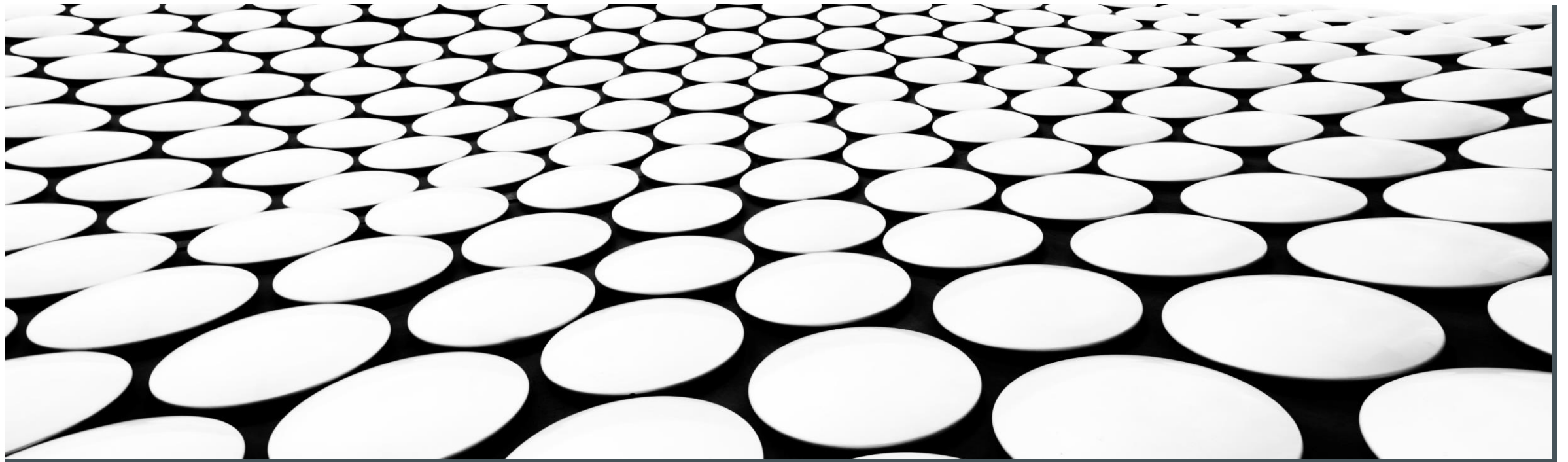

TO現場業務のケーススタディ

JTU技術委員会委員 北岡 聡



本日の狙い！！

皆さんに悩んでいただこうと思います。

昨年の流行語大賞は「ふてほど」でした。

昭和・平成のTOは命令口調だったかもしれませんが令和になり、ペナルティを受けていただく時代になりました。

選手にけがをさせない・平等に1秒を争ってもらうために
みんなで事例ケースを数多く頭の中に保有し
0.3秒で判断を迫られるTO業務を自信をもって対応できるように
みんなで情報共有していきましょう！

**※一部、TOの失敗例があがっておりますが
個人を責めているつもりは毛頭ございません。
むしろ、私たちのTOレベルが上がることに感謝しております。**

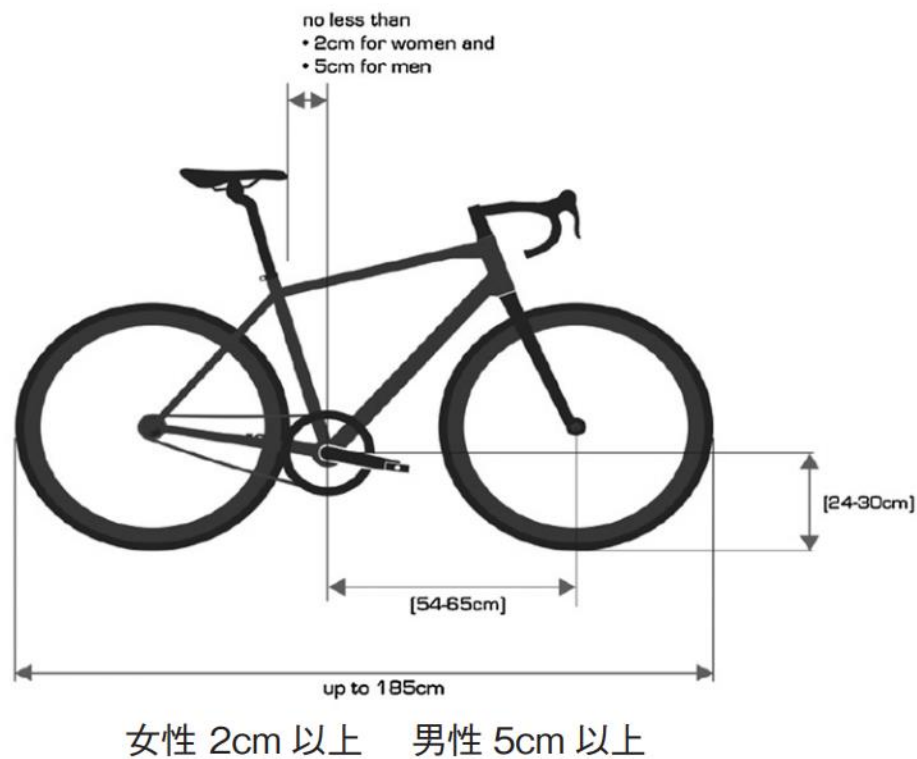
ウォーミングアップ

- ①ある選手のカゴにゴーグルとスイムキャップが二つ入ってました。
何がおかしいでしょうか？
- ②# 5の枠にあるBOXにヘルメットが外にありました。
あるTOが周りに声をかけずHRに# 5の収納違反を報告した。
何がおかしいでしょうか？
- ③日本選手権でスイムエリアとランジの間の通路にゴーグルが落ちていた。
BOXをすべて確認したらゴーグルがない選手が居た。
そのBOXの番号から、ペナルティとしてランジチーフに報告した。

→ペナルティを**やろうと思ってやる**選手はいません。
→アドバンテージが**あるかないか**をきちんと判断しましょう！



1. バイクチェックについて



•このバイクチェックの意味

①集団走行中に加減速が多く発生するバイクにおいて
選手の安全を確保するため(つんのめり対策)

→では??

Q.違反していたらすぐに直させるべき?

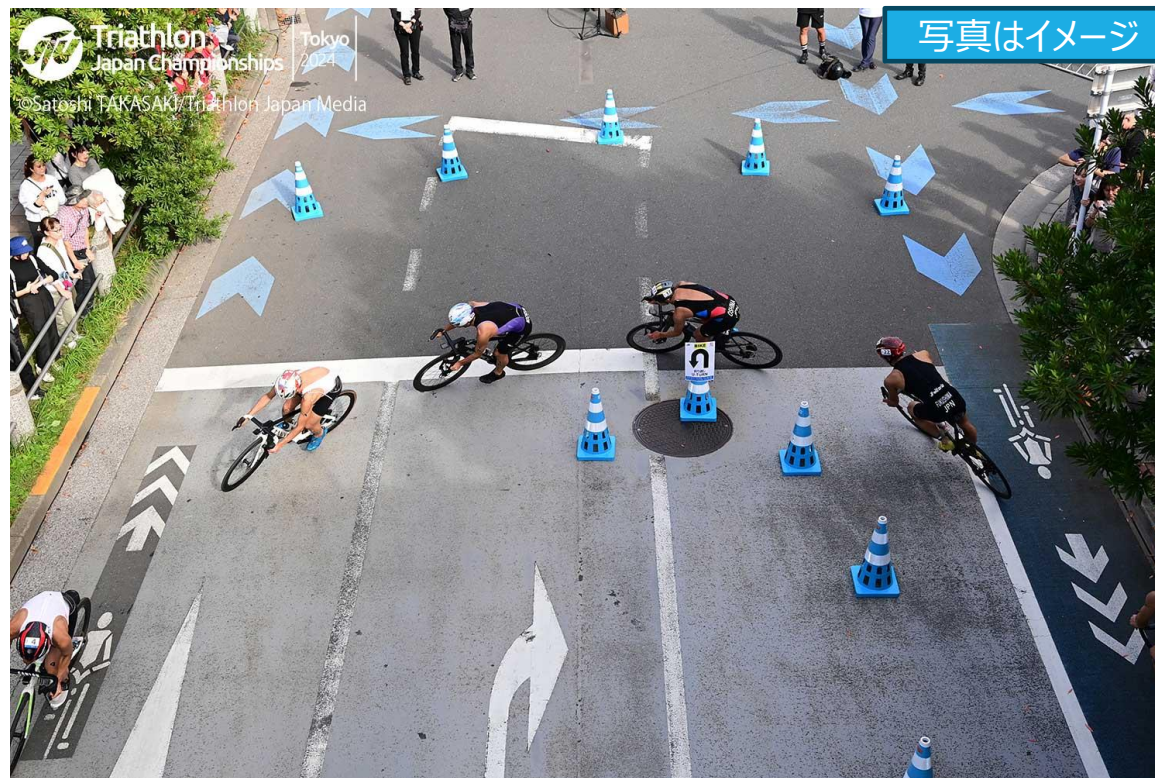
A. **必ずTD・HRに事実を正確に伝えましょう!**
自身での判断はおこないません

P1: 当日、すぐに変えるのは今までそのバイクポジションで
練習をおこなってきた選手が対応できずかえって危険

P2: ポジションが出にくい選手は特別措置があり申請可能
その制度の存在を伝え、より安全なポジションを確保する
(世界に羽ばたく選手に教えてあげたい)

2. 想定ケース①

レースのバイクUターン箇所で落車が続発した。
この場合、「**レース途中**」で
バイクコースのアレンジ（コーン&バー）を変えるべきか？



一緒に悩んでほしいこと

- ① 選手の安全が確保できない状況を放置するのか？
- ② バイク距離が変わり不公平にならないか？

→TOが介入して安全が確保できるようであれば介入しましょう！

→TO自身の安全も十分に注意してくださいね！

3. 想定ケース②

エリートレースのバイクコースカーブ地点の鉄柵に取り付けたバナーが強風にあおられ、柵が転倒しそうになったのでバナーの取り付け紐を緩めた。結果として、バナーがコース内に大きくなびき、インコーナー部分をふさぐようになったので、日本人コーチが日本人選手通過時のみバナーを手で押さえた。TOとして、そのコーチにどう伝えるべきか？

一緒に悩んでほしいこと

- ① 競技安全運営の観点
- ② 特定選手がアドバンテージを得ていないかの観点
- ③ スポンサーリスペクトの観点
- ④ もし、可能ならTOが全選手に平等に安全対策をしたかった

→ 定点TOにもやることはたくさんあります！
四方八方に気を配っていきましょう

写真はイメージ



4. 想定ケース③

エリートレースのチームホイールステーションへ後輪がパンクした選手が入ってきた。
しかし、当該選手は自分またはチームホイールを預けていない。
しばらくして当該選手は、チームホイールを預けているある選手のコーチの了解を得たので、
そのある選手の後輪を使いたいと言ってきた。ホイールステーションTOとして、どう対応すべきか？

一緒に悩んでほしいこと

- ①できる限り選手には完走してもらう配慮を大会運営側が準備すべきという観点
- ②チームホイールを他者に貸して、持ち主がレース中にパンクした時にはどう償うのかという観点

TD・HRには必ず情報連携すること！

**→チームホイールはチーム内であれば使用を認めざるをえません
個人ホイールの貸し出しはできません**



5. 想定ケース④

アクアスロンの男子選手権ペナルティの適用事例

トップが第2ラン3周目に入るころ、トランジションから#2の用具逸脱の連絡。審判長がペナルティボックスでの適用を指示。ルール上は、

● PENALTIES MUST BE POSTED ON THE BOARD BEFORE THE ATHLETE REACHES THE PENALTY BOX AS THE FOLLOWING:

○ IN CASE OF 3 LAPS RUN, UNTIL THE ATHLETE REACHES THE PENALTY BOX ON THE 2ND LAP;

であるが、2周目の通過までに掲示出来なかった場合の扱いは明示されていない。

一緒に悩んでほしいこと

- ①ペナルティは先頭が3周目をこえている場合、取れない
- ②ルールに微妙な2周目がない
- ③もし、選手がペナルティを見逃した場合は未対応で失格になる

→ペナルティの発見が遅れることもあり、どのように対応するかが大きな問題
TOが潤沢な大会ばかりではありません。協力しあっていきましょう

⑥. 想定ケース⑤

東京海の森の事例:

バイクコースのグランドスタンド前に入る右コーナー立ち上がりから20Mほどの地点で、カーペットの一部が強風でめくれ上がった。鋏などでの固定が会場から許可されていないため両面テープで固定されていたもので、不十分であった。カーペットを一度剥がれたテープのまま元の状態に戻そうとしていた。

一緒に悩んでほしいこと

- ①このままでは強風で再びめくれる可能性大で、選手の通る直前であれば事故につながると判断し、現場のカーペットをめくれたままとしてTOが手前で選手を回避誘導するよう指示し、セレスポさんに依頼。固定をやり直していただいた。
- ②そもそも、それをすべて取ってしまうことも考慮する。その時、バナーと同様、スポンサーなどに影響がないことを確認

→正解はひとつではありません。
ありとあらゆる選択を想定し的確な判断をお願いします。



AEDの使用について

11:09	ラン競技を開始
11:13	選手意識消失：(心肺停止のため、TOが駆け寄り気道確保、心臓マッサージ開始)
11:14	救急車を要請
11:15	救急隊接触
11:26	救急車に収容
11:27	救急車出発し、Dr.ヘリへの引き渡しポイントに向かう
11:43	救急車、Dr.ヘリ引き渡しポイントに到着
11:44	前川運動公園よりDr.ヘリ出発

AEDはとにかく使う。判断を自分でしない。
状態・症状も気にしない。
ペースメーカー使用者もOK。ただし事前に拒否される方もいらっしゃることを懸念する

お願いします！

**→AEDを渡されたら、必ず蓋を開ける
電極パッドの取り出し方、電源スイッチの確認
電極パッドは出してしまうと買い替えなので注意！！**





FIN